



親子2世代の贈呈を迎えた
「黄色いワッペン」

社会貢献活動

より豊かで積極的な 『次世代の人づくり』をテーマに、 社会へ貢献。

「社会公共のために尽くす」

創業者・安田善次郎の言葉にあるように、
当行の社会貢献活動の歴史は古く、
その精神は今日まで受け継がれています。
現在は『次世代の人づくり』をテーマに、
教育、交通安全、文化支援、国際交流、
社会福祉、ボランティア活動支援など、
さまざまな分野における地道な活動に
積極的に取り組んでいます。



平成11年で35回目を迎えた交通事故障害保険付き「黄色いワッペン」は、毎年、小学校に入学する全児童に贈呈されています。このワッペンは、当行が創業85周年を迎えた昭和40年を機に、安田3社(安田火災海上保険、安田生命保険、安田信託銀行)の協力を得て始めたものです。すでに、ワッペンが贈呈された児童数は4,341万人に達し、今では、最初に贈呈された方々のお子さまの世代が贈呈対象となり、もはや小学校1年生の象徴ともいわれるほど定着しました。また、昭和40年からの当行行員の積み立てによる「交通安全募金」の贈呈や昭和44年からの芙蓉交通安全協力会の寄付もあわせて、毎年恒例の交通安全キャンペーンとして実施しています。

富士記念財団の 社会福祉助成事業



創業100周年の記念事業として昭和55年に設立した「富士記念財団」では、社会福祉に関する助成金の贈呈、視覚障害をもつ大学生のための点訳介助事業、電動車椅子の贈呈を実施しています。これまでに贈呈した電動車椅子の数は455台となりました。また、同財団では当行役職員の寄付金をもとに、特別事業としてリフト付きバスやマイクロバスなどを心身障害者施設に贈呈しています。すでにその数は累計160台となりました。

「成人の日コンサート」の開催



当行は芸術・文化支援活動の一環として、毎年「成人の日コンサート」を開催しています。このコンサートは、有望な若手音楽家の支援と次世代を担う若い人たちにクラシック音楽に接する機会をもつていただくことが目的です。10回目を数えた今年も新成人やそのご家族に加え、視覚障害をもつ大学生などを多数ご招待しました。またコンサートの売上金の一部を「日本障害者芸術文化協会」を通して障害をもつ人たちの音楽グループに寄贈しました。

「全国小中学生環境絵画コンクール」の開催

当行は一昨年より、安田生命保険、丸紅、全国小中学校環境教育研究会と協力を、「全国小中学生環境絵画コンクール」を開催しています。このコンクールは、「みんなでつくろう住みよい街」「みんなで守ろう大切な自然」をテーマに実施しています。入賞作品は当行本店地下のギャラリーにおいて一般公開しています。

内外の行員有志のボランティア活動を支援

「ボランティア活動に参加したい」という行員の要望に応え、平成5年度からボランティア休暇制度の導入などによってその活動を支援しています。

また、当行のニューヨーク支店と富士銀行信託会社では、CRA(米国での金融関連企業に地域社会への貢献を義務づけた法律)のもとで、従業員有志がボランティア活動に積極的に取り組むとともに、銀行としてもその活動を支援しています。平成4年度には、この地道な活動が高く評価され、外国銀行として初めてCRA格付ランキングの最上級を取得しました。以降7年間、連続して同様の評価を得ています。

営業店における地域貢献活動

各営業店においても地域に根ざした社会貢献活動の一環として、募金活動・古本の寄贈・リサイクル運動などに主体的に取り組んでいます。

奨学金制度の導入で人材育成



創業110周年記念事業として平成3年に設立した「富士銀行国際交流奨学財団」では、平成10年度は日本で学ぶ外国人留学生を対象に合計20人、1人当たり月額12万円の奨学金を支給しました。また、平成7年度からは海外(アジア諸国)の大学で学ぶ学生を対象にした奨学金制度を創設し毎年奨学金を支給しています。

英、米、中国で冠講座を開設



当行は平成3年、ケンブリッジ大学やシカゴ大学で冠講座を開設し、それぞれの地域に根ざした活動として高く評価されています。また、平成7年4月には、北京の中国金融学院で「富士銀行国際金融経済講座」を開設し、毎年4年生を対象にした集中講座を3日間にわたって実施しています。中国金融学院は、人民銀行など中国の主な金融機関が共同で設立した金融専門の大学です。この卒業生たちが、今後ますます著しい発展を遂げる中国の金融・経済の分野で活躍することが期待されています。

CRA(地域再投資法)

The Community Reinvestment Actの略。この法律は、通常の銀行融資になじみにくい低所得者層への住宅融資や、開発の遅れた地域への融資を拡大する目的で制定されたものです。各銀行の融資・寄付の実績や地域でのボランティア活動など、その地域への貢献度に基づいて、傑出している 満足できる 改善の要あり 大幅不履行、の4段階で評価されます。